

大名みえ子です

2015.5.15 No.281
東海村村松 2401-2
電話・fax 029-284-0761



記念講演でお話しする高遠菜穂子さん

ィバルには、1,300 人がつどい、それぞれの「憲法を守ろう」というアピールとともに、お祭りらしく、歌や踊り、若者トークブースや模擬店などで賑やかな集いとなりました。

高遠菜穂子さんは、2004 年 4 月にイラクファルージャで「自衛隊の撤退」を要求する現地武装勢力に拘束されました。解放された後、日本国内で「自己責任」バッシングを受けましたが、現在もイラク人道・医療支援活動に取り組んでいます。「日本国憲法を名実ともに守り生かし、世界に発信する日本の取り組み」の重要性について訴えられました。



フェスティバルでは、水戸工業高校ジャズバンド BURUEBIGINNERS（ブルービギナース）の演奏や、水戸藩 YOSAKOI（よさこい）連の方々による迫力満点の舞踏なども披露されました。老若男女が、日本国憲法のすばらしさと守り抜く重要性について改めて確信する集いでした。

←水戸藩 YOSAKOI 連は、20 歳代くらいの若い人ばかりでした

戦争法案

戦後最悪の憲法破壊 「総力上げ阻止」を



志位和夫 5月14日

安倍政権、集団的自衛権行使を具体化する11本の法案を閣議決定。「平和安全法制」を標榜するが、日本の「平和」とも国民の「安全」とも無縁だ。

米国が、世界で行う戦争に際して、いつでも、どこでも、どんな戦争でも、自衛隊が支援参加する「戦争法案」がその正体だ。必ず廃案へ！。力を合わせよう！

15 日朝、日本共産党東海村委員会と後援会は、駅東口で、安倍内閣が 14 日に行った戦争立法関連 11 法案の閣議決定に強い怒りを表明し、「ごいっしょに戦争立法をストップさせましょう」と呼びかける宣伝を行いました。

また、法案の問題点、本質を知らせるチラシを配布し



ました。

高校生もチラシを受け取ってくれました。「何としても法案は、廃案にしましょう!!!」